



SST.R&D

高大連携授業

2017.5.16

第2回加太宇宙イベント報告会（グランフロント大阪）

平成29年5月4日実施

写真提供：かだうちあげうんえい

第1回 大阪府立大学との連携授業

高大連携授業について

2017年度、最初の連携授業は3月25日（土）に実施した大阪府立大学様とのロケットと缶サットの共同打ち上げ実験の事後報告会をグランフロント大阪で行いました。

報告会では第5回加太宇宙イベントに参加した大阪府立大学SSSRCや高知工科大学KRP、徳島大学のTRP、大阪工業大学FSRP、立命館大学RISA、九州工業大学SOMESATや高校では本校以外では和歌山信愛高校、京都市立洛陽工業高校、関西モデルロケットクラブ等が発表しました。

発表内容（口頭発表7分、講評3分）

- 1：1年生の学習缶サットとしての達成度
- 2：缶サットのシステム、構造の説明
- 3：ミッションおよびサクセスクライテリアの検証

共同実験で使用した缶サットは主に1年生（3人）が研究開発しました。1年間クラブで取り組んできたことが確実に理解できているかを評価するもので、年度により、理解度や達成度に違いが出ますが、昨年度に比べ精度や品質を少しでも上回るように努力を積み重ねていきました。

発表後の講評

7分間の発表後、大学生の皆さまから、無線技術について事前実験の有無、電波強度の確認、打ち上げ前のデータの取得不足について質問がありました。

生徒たちは、それらの質問に対し、即座に対応し、通信装置の事前実験での電波強度と距離との関係やデータの取得不足に関連する電波送信時の消費電流量の抑制が必要であったことなどを理路整然と答えられました。

謝辞

大阪府立大学の小型宇宙機システム研究中心SSSRCの先生方、学生の皆さま、また、今回この宇宙イベントの事後報告会に、ご尽力いただいた全ての関係者の皆さまに対し、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

これらの実験や事後報告会で得られた経験やデータを基にして、7月に実施予定の缶サット甲子園で今回達成できなかったミッションを確実に達成できるように研究していきますので、応援よろしくお願ひします。



各ミッションのサクセスクライテリアについて説明中



サクセスクライテリア達成度を色で表現（見える化）